



### 自治基本条例通信(第8回)

#### 白河市自治基本条例を考える市民会議活動中!

白河市自治基本条例を考える市民会議活動中/市民会議出張出前トークの実施先募集



▲第9回市民会議の様子



▲講演会の様子

**■白河市自治基本条例を考える市民会議活動中!**

11月7日・21日に、白河市自治基本条例を考える市民会議(以下、市民会議)の第9回および第10回が開催されました。

これまで検討してきた本市のまちづくりの担い手と、その役割についてグループごとにまとめた発表を行い、検討してきたことを基に自治基本条例素案の中間取りまとめの作業に入りました。

また、11月23日には、議会主導で自治基本条例を制定した長野県飯田市から、条例制定に協力いただいた中島武津雄さんを招き、制定の取り組み

みや自治基本条例への思いなどについてお話をいただきました。

※市民会議の資料や会議録は市ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

**■市民会議出張出前トークの実施先募集!**

市民会議では、市民会議メンバーが皆さんのところにお伺いする「出張出前トーク」を予定しています。これは、白河市自治基本条例素案中間取りまとめ案に関する説明や意見交換の場とするものです。

現在、この出張出前トークに参加いただける団体等を募集しています。申し込みの手

- 続方法等については次のとおりです。
- 応募期間 平成24年2月1日(水)～3月14日(水)
  - 応募数 5か所程度(先着順とし、予定数になり次第終了します)
  - 対象 市内に在住、在勤、在学している方で、おおむね10人以上で構成された団体、グループ、企業等
  - 申込方法 申込書を作成のうえ、郵送、FAXまたはEメールでお申し込みください(直接持参可)。
- また、申し込みが多数となった場合や希望日時によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 申込期限 12月16日(金)まで
- ※申込書は、本庁舎企画政策課・各庁舎総務課・各行政センター・市関係公共機関等で配布しています。また、ホームページからもダウンロードできます。
- 問い合わせ先**
- 本庁舎企画政策課 ☎111  
1 内2324



ミュージシャン Yammy さん

少しでも元気になってもらいたいという思いから

ステージにYammyさんが登場すると会場はどよめき、約200人のファンから大きな歓声が上がりました。スローバラードからアップテンポへと曲が続き、気持ちの高まりが波のように観客の体を揺らしました。11月12日、文化センターで開催の「Yammy's Garden in しらかわ」は、Yammyさんが本市で初めて行うホールコンサート。

「このコンサートで、皆さんに私の曲の世界でゆっくりくつろいでほしいと思いました。庭でくつろぐように、少しでも元気になってもらえたらという思いからです。皆さんは私の大切な友達ですから」

Yammyさんは、また友達に会うことを約束し、微笑みました。



▲「Yammy's Garden」の様子

#### Yammy's News

ラジオ福島でYammyさんに会える!!

RFCラジオ福島で毎週木曜日午後9時より自身の番組「Yammy's Garden」が放送されています。

その音楽は私たちの肩を抱き寄せた。友達のように



People are supported by music.



作詞・作曲家 Miyakawa Hiroshi 宮川ひろしさん

明日の希望を歌に込めて、全国に発信することでした

白河市出身の3人トリオ「白河シスターズ」が歌う「ガンバレ東北」がマスコミに取り上げられ話題となりました。音楽をプロデュースしたのは作詞・作曲歴40年の宮川ひろしさん。

「家、友、そして愛する家族を失った東北地方の震災をまのあたりにして、私にできることは、明日の希望を込めた音楽を全国に発信することでした。曲を歌う3人は、カラオケ友の会のメンバーです。1人で歌うにはまだ未完成。しかし、3人なら新しいハーモニーを作り上げてくれると思ったんです」

「明日は東京で歌います」と宮川さんの希望を届ける活動は続きます。

人は悲しいとき、歌を聴く。そして、涙をぬぐって、もう一度その歌を聴く。その先にある確かなものを確信し、一歩踏み出すために。

ここでは、音楽で本市の復興を支えている3人のインタビューをお届けします。



福島県ミニコンサート実行委員会会長 Enndou Yasuo 遠藤靖男さん

人の喜ぶ顔が見たくて、コンサートが続いているんです

「小高町、浪江町などの避難されている方が涙を流して音楽を聴いている姿を見たとき、この企画をやったよかったと思いました」

福島県内をコンサート企画で駆け巡っている遠藤靖男さんは、その光景を思い浮かべ、自然に内から笑顔がこぼれました。遠藤さんは、市中心市街地活性化基本計画の白河駅舎活用事業にも賛同し、駅舎を中心に月1回コンサートを行ってきました。震災によりコンサートの実施が危ぶまれたものの、5月22日に再開し、11月には34回を数えます。

「音楽で白河市のみならず、福島県全体を元気にします」と話す遠藤は生き生きと輝いていました。

#### Music topics

#### ◆第15回しらかわ音楽の祭典

11月5日、白河旭高校第二体育館(旭町)で「第15回しらかわ音楽の祭典」が開催されました。

第1部では小・中・高校生および一般団体による合唱、第2部では日本を代表するオペラ歌手・森麻季さんが天使の歌声を披露しました。

